

Kyushu University Beppu Hospital



九州大学病院別府病院 診療のご案内

九大別府病院だより

2011
Vol.1



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital



免疫・血液・代謝内科では、リウマチ性疾患・膠原病、血液疾患および糖尿病・内分泌疾患などに対して、専門的視野から充実した医療を提供しています。

副 科 長
生 山 祥 一 郎

得意分野

- リウマチ性疾患・膠原病：免疫の異常とされている関節リウマチ、膠原病の診療を中心にしています。リハビリテーションにも力を入れており、温泉プールを備えたリハビリテーション施設は国内有数の設備です。
- 血液疾患：白血病、悪性リンパ腫をはじめとする血液悪性疾患の化学療法を継続的に行っています。また、免疫異常に基づくと思われる再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病の治療も行っています。
- 代謝・内分泌疾患：糖尿病をはじめとする生活習慣病、および骨粗鬆症や内分泌疾患の診断と治療を行っています。内分泌疾患は負荷試験と画像診断に熟練した専門医が診療にあたっています。

診療体制

リウマチ、血液、糖尿病、内分泌などの各学会専門医・指導医が診療にあたっています。またリウマチ教室、糖尿病教室を定期的に開催し、患者さんに自分の病気に関する正しい知識を提供するように力を入れています。また、リウマチ友の会、膠原病友の会、日本糖尿病協会の分科会「生医研さくら会」などの活動を通じて患者さんとの交流を深めています。

診療方針

リウマチ性疾患・膠原病、糖尿病の治療では、患者さんへの丁寧な説明と教育に力をいれて、患者さんと医師や医療スタッフが互いに協力して治療効果が上がるように努めています。血液悪性疾患は化学療法による副作用が多いため、患者さんの肉体的精神的ケアに細心の注意を払っています。

対象疾患

- 膠原病：関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、リウマチ性多発筋痛症、ベーチェット病、成人スティル病、シェーグレン症候群等
- 血液疾患：悪性リンパ腫、再生不良性貧血、骨髄異形成症候群、特発性血小板減少性紫斑病、急性・慢性白血病
- 内分泌疾患：下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性腺などのホルモン異常をきたす疾患
- 代謝疾患：糖尿病、高脂血症、骨粗鬆症

主な検査

骨・関節エックス線検査、骨量測定、関節可動域検査、筋力検査、関節液検査、骨髄穿刺、骨髄生検、フローサイトメトリー、染色体検査、リンパ節生検、各種内分泌負荷試験

主な治療

- 膠原病：抗サイトカイン療法、免疫抑制剤療法、ステロイドパルス療法、エンドキサンパルス療法
- 血液疾患：抗癌剤治療、免疫抑制剤療法
- 代謝・内分泌疾患：食事・運動療法、糖尿病に対する各種薬物療法、ホルモン補充療法





循環・呼吸・老年病内科では、循環器（心臓・血管）病、呼吸器（気管支、肺、睡眠時無呼吸症候群）疾患、神経疾患（脳卒中、パーキンソン病など）あるいは生活習慣病（高血圧・高脂血症）の患者さんの診療をおこなっています。

科長
牧 野 直 樹

得意分野

広く生活習慣病全般を対象としていますが、主として心疾患、呼吸器疾患、神経疾患を扱っています。

診療体制

外来診療は月曜日から金曜日までの毎日、循環器専門医が担当しています。また、禁煙外来、物忘れ外来、頭痛外来、睡眠外来なども開設しています。入院診療は、次のような場合に入院診療の対象とします。より精密な検査が必要と判断された場合。以下に掲げる対象疾患で、症状が強く、安静およびより積極的な治療が必要と判断された場合。

診療方針

QOL（生活の質）を落とすことなく、循環器病、呼吸器疾患、神経疾患に対して治療を行います。また、疾患に応じて生活習慣指導とリハビリテーションを受けてもらえる体制を整えています。このように、原疾患の治療のみならず再発をきちんと予防し、退院後も安心して長生きできるようお手伝いすることが私たちの使命だと考えています。

対象疾患

循環器疾患としては、狭心症・心筋梗塞、慢性心不全、心臓弁膜症、不整脈といった心臓の病気や、大動脈疾患および高血圧などを対象とし、呼吸器疾患としては、慢性気管支炎、気管支喘息といった疾患を対象としています。神経疾患として、脳卒中などの脳循環障害、パーキンソン病や脊髄小脳変性症なども対象とします。この他、睡眠時無呼吸症候群も取り扱っています。具体的には次のような症状が対象となります。

■胸痛、動悸、脈が跳ぶ、呼吸困難、失神、血圧が高い、コレステロールや血糖が高い、手足の突然の脱力、めまい・ふらつき、頭痛、手足のしびれ、ふるえ、ものわすれが気になる、昼間の眠気、いびきが大きい、眠っている時息が止まっていることがあるようだなど。

主な検査

・心臓超音波検査（心臓エコー） ・運動負荷心電図 ・心肺総合運動負荷試験
・血圧脈波検査 ・24時間心電図 ・胸部CT、頭部CT ・頭部MRI ・脊髄MRI
・心臓カテーテル（冠動脈造影検査、心血管造影検査） ・終夜睡眠ポリグラフ検査

主な治療

・薬剤治療 ・経皮的冠動脈形成術（風船治療） ・ペースメーカー植込術
・リハビリテーション（心臓、運動器） ・BiPAP療法

症状が変化した場合や、急に症状が出現した場合などには対応できる体制をとっています。



心臓カテーテル検査



外科は、消化器癌（消化管癌および肝・胆・膵癌）や乳癌に対し、手術を中心とした集学的治療を行っています。特に消化器癌に対しては腹腔鏡を用いた低侵襲手術と高度進行癌に対する根治性を高める手術を両輪に、早期癌から末期癌までを対象に最先端医療を提供できる体制を整えています。

副科長
三 森 功 士

得意分野

癌治療と一般外科に対する診療を行っています。消化管癌や膵脾肝腫瘍の一部には鏡視下手術を行っています。一般外科としては、良性疾患に対する鏡視下手術や痔核外来治療（モリコーン）を積極的に行っています。

診療方針

治療はご本人・ご家族と十分に話し合った上で、納得のいく最適の治療を行うことを基本方針としています。医療スタッフはコメディカルと協調性を保ち、標準治療を考慮した上で患者さん個人に最適と判断される治療を提供しています。日本外科学会指導医、消化器外科専門医、肝胆膵外科高度技術認定医、日本乳癌学会認定医が専門の治療を実施しています。

対象疾患

食道癌、胃癌、大腸癌、肝胆膵癌、乳癌を中心に、胃十二指腸潰瘍、胆石症、慢性肝炎、肝硬変、膵膿瘍性腫瘍、痔疾患、ヘルニアなどの良性消化器疾患も対象としています。

主な検査

放射線科医師とともに、上部内視鏡、下部内視鏡、上部消化管透視、下部消化管透視、腹部エコー検査、血管造影、CT、MRI 検査を実施、乳腺エコー、マンモグラフィ、吸引細胞診、針生検も外来初診時に実施しています。肛門鏡検査。

主な治療

早期癌に対しては、内視鏡的切除や腹腔鏡を用いた侵襲の少ない治療を行っています。進行癌に対しては、可能な限り根治術を目指しますが、抗癌剤を使用する場合は患者さんの QOL を重視し外来抗癌剤治療も行います。適応症例に対しては癌特異的免疫療法を行っています。また、すでに先行して実施した臨床治験で成功を修めた、自己脂肪組織由来幹細胞を用いた再生医療（特に乳癌患者の乳房再生）を計画しています。さらに別府市医師会と連携して温泉を用いた癌患者ケア法の確立も目指しています。

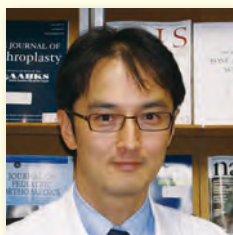


腹腔鏡手術風景：胃GISTに対する腹腔鏡手術

疼痛外来

痛みでお悩みの方の相談、治療を受け付けています。当院の疼痛治療は、痛み止めなどの薬剤療法に、温泉治療を加えています。付属する慢性疾患診療部で慢性疼痛の温泉入浴療法、鈣泥浴治療などを実施しています。身体を動かす時の痛みや、古傷の痛みなどには最適です。もちろん帯状疱疹、急性腰痛などの急性の痛みに対しては神経ブロックを含む薬物治療が行われます。痛みの原因は、傷によるもの、神経の損傷によるもの、血液の流れが悪くて起こるもの、癌によるもの、精神的なものさまざまです。従って痛みの治療には、身体全体を見た治療法が必要です。薬物治療と温泉療法を取り入れた全身治療が最適です





せぼねの病気（脊椎外科）を専門としています。例をあげると、坐骨神経痛の原因（腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニア）に対する内視鏡手術や脊柱側弯症に対する矯正固定術、圧迫骨折に対するセメントを用いた後弯形成術などで、脊椎外科疾患全般に対して様々な治療を行っています。

科長
土井 俊 郎



得意分野

腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡手術、顕微鏡手術や頸椎疾患に対する椎弓形成術、脊柱側弯症に対する矯正固定術、圧迫骨折に対するセメントを用いた後弯形成術等を行っています。

診療体制

整形外科医 3 人が専門的な治療にあたります。外来診療は火、木です。入院診療では他科専門医と連携を取りながら診療にあたります。

診療方針

病状は患者さんによってそれぞれ異なります。患者さんにあった最も適切な治療を、手術的治療ばかりではなく、薬物治療、リハビリテーションを含めた保存的治療を最新・最高の技術・知識をもとに考え、十分な説明と同意のもと、行うよう心掛けています。

対象疾患

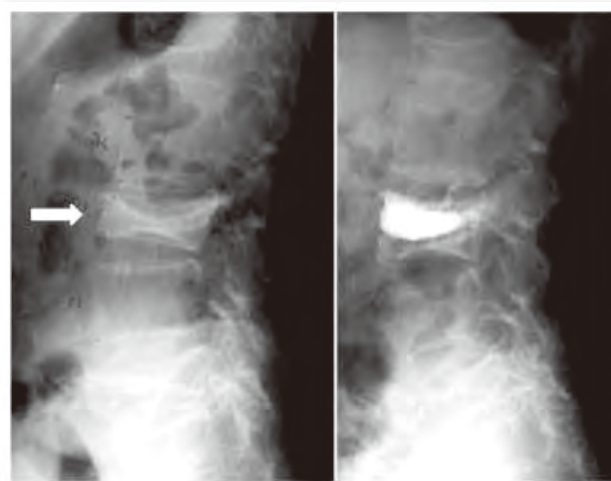
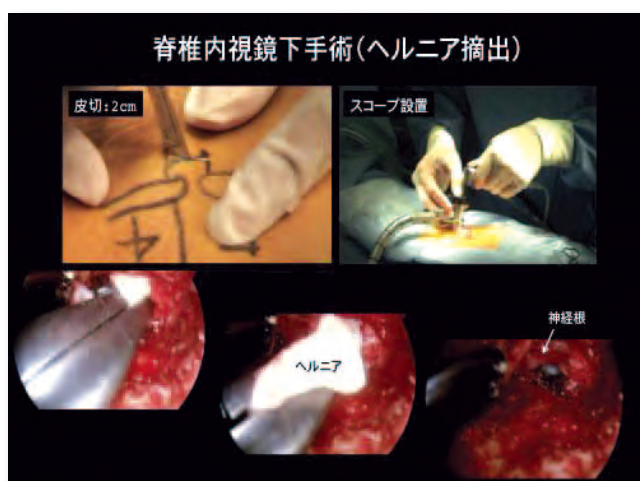
頸椎椎間板ヘルニア、リウマチ頸椎（環軸関節脱臼など）、頸椎症（頸椎症性脊髄症、頸椎症性神経根症）、脊椎縦靱帯骨化症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、脊椎圧迫骨折、骨粗鬆症、脊椎側弯症、脊椎腫瘍など。

主な検査

外来では、レントゲン、MRI、CT、骨塩定量装置、筋電図検査等を用い、苦痛無く確定診断を行います。入院では、脊髄造影検査、選択的神経根ブロック、椎間板造影などを行います。

主な治療

内視鏡手術、顕微鏡手術、脊椎固定術、セメントを用いた後弯形成術（バルーンカイフォプラスティ）、薬物療法、リハビリテーション



脊椎圧迫骨折に対する、バルーンカイフォプラスティ



放射線科では、CT、MRI などを使った画像診断、肝・胆・膵疾患等に対する画像介入下低侵襲治療（血管内治療など）、上部・下部消化管検査および内視鏡的治療、悪性腫瘍に対する高精度放射線治療を行っています。

科長
平 川 雅 和

得意分野

平成 21 年に新規に CT、MRI などの画像診断装置、高精度放射線治療装置を導入し、画像診断、画像介入下低侵襲治療（血管内治療など）、内視鏡的治療、放射線治療に幅広く取り組んでいます。
放射線治療に関しては、肺腫瘍等に対する体幹部定位放射線治療（ピンポイント照射）、前立腺癌に対する高精度放射線治療などを積極的に行っています。

診療体制

日本医学放射線学会放射線科専門医 3 名（そのうち 1 名は放射線治療専門医、1 名は日本 IVR 学会専門医の資格を有します）が専門的な放射線診療にあたっています。
また、九州大学病院（福岡市）と専用画像回線で接続されており、画像診断、放射線治療に関して、本院医師との連携が可能です。

診療方針

可能な限り、低侵襲な画像診断と治療が提供できるように、各専門医が診療にあたります。さらに、院内各科、院外医療機関の専門医師とも緊密に連携をとりながら、診療に取り組んでいます。

対象疾患

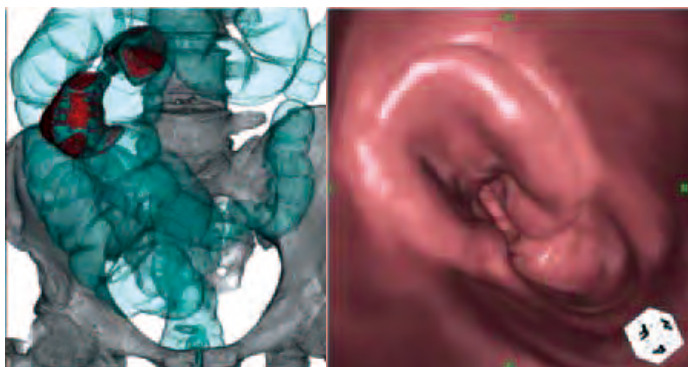
画像診断が対象となる全疾患、各種悪性腫瘍など

主な検査

CT 検査、MRI 検査、血管造影検査、消化管造影検査、内視鏡検査、CT を用いた仮想内視鏡検査

主な治療

- 各種悪性腫瘍に対する高精度放射線治療
- 消化管悪性腫瘍に対する内視鏡的治療（EMR、ESD）
- 腹部骨盤領域の画像介入下低侵襲治療（血管内治療など）



CTコノグラフィ



高精度放射線治療装置

慢性疾患診療部(リハビリテーション)

Department of Rehabilitation of
Chronic Diseases



各疾患によって低下した身体機能を患者さんがその人らしく生活できるよう回復させ、さらに自立した社会生活を手助けするための包括的リハビリテーションを行います。

診療体制

専任医師 1 名、理学療法士 5 名、作業療法士 1 名、
マッサージ師 1 名、リハビリ助手 1 名、
プール監視員 1 名の計 10 名で構成しています。

診療方針

専任医の指示の下で、疾患から起こる機能的および社会的な障害を把握し、インフォームド・コンセントを行った上で、患者さんのニーズに合ったリハビリテーションを提供することを基本方針にしています。

得意分野

関節リウマチ等の膠原病、パーキンソン病・脊髄小脳変性症等の神経筋疾患、脳卒中や内科疾患、生活習慣病患者まで多様多種の疾患を対象にしています。また、整形外科の開設により頸部から腰部疾患を対象としたリハビリテーションも行います。治療内容は、疼痛の訴えや身体的・社会的障害に対し患者さんのニーズに合わせ、徒手療法や物理療法・温泉（水治）療法・作業療法・ADL 指導等を行い、早期回復を手助けしていきます。

設備と特色

通常のリハビリテーション設備に加え、温泉湧出量日本第 1 位の特色を活かした温泉プール、温泉鉱泥浴（泥湯）、堀田温泉浴、今井照湯温泉浴などの温泉リハビリテーション施設を備えています。温泉プールでは、理学療法士がプールに入り運動指導を行っています。また、温泉療法と徒手療法を組み合わせたリハビリテーションが特徴です。
患者さん向けでは、リウマチ教室・糖尿病教室を行っている事や施設敷地内には大森林があり、自然遊歩行コースがあることも特色としています。



温泉鉱泥浴(泥湯)



各種電気治療器



温泉プール

地域医療連携室のご案内

地域医療連携室では、患者さん（ご家族）の様々な医療・福祉に関する総合相談窓口として、また地域医療機関等との窓口として、医療ソーシャルワーカー、事務（患者サービス係）、看護師などが協同しながら院内外の関係機関と緊密で効果的な連携を展開しています。

当院と地域医療機関、介護施設等が連携を深め、患者さんに満足いただける医療提供を目指して、診療連携をはじめ、医療福祉相談・在宅療養支援業務を行っています。

地域医療連携室が患者さん・ご家族と当院・地域医療機関等との“かけはし”となるよう迅速で信頼される医療連携業務を行っています。

業 務 内 容

- ・紹介患者さんの診療予約受付
- ・地域医療機関との転院調整、入退院・病床管理
- ・紹介患者さんに関する返書・経過報告の送付
- ・紹介・逆紹介に関するデータ管理
- ・地域医療機関への診療に関する情報提供、広報活動
- ・セカンドオピニオン外来受付
- ・医療福祉相談・在宅療養支援

この様なときは地域医療連携室にお問い合わせください。

- ・患者さんのご紹介方法、専門外来について。
- ・当院所定の診療情報提供書（FAX 診療予約申込書）のご請求。
- ・紹介した患者さんの受診報告書（返書）が届かないとき。

ご利用時間のご案内

月～金 8:30～17:00 フリーダイヤル:0120-272-518（専用）

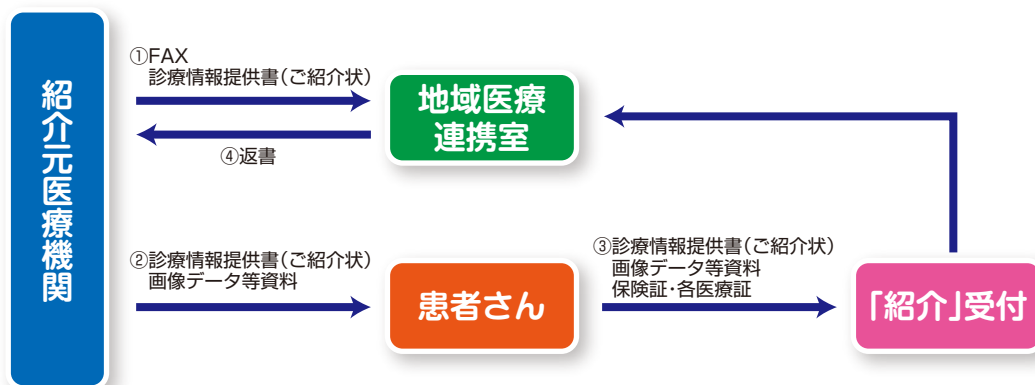
TEL:0977-27-2055（直通） FAX:0977-27-3008（24時間受信可）

外来受付時間：8:30～12:00 休診日：土日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

患者さんのご紹介について

原則として、患者さんを当院へご紹介いただく際は地域医療連携室までご連絡ください。

診療のご予約を受け付けした後に希望診療科が休診の場合や来院予定日が未定の場合等については改めて地域医療連携室よりご連絡させていただくことがあります。



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原 4546 番地

代表 TEL 0977-27-1600

ホームページ <http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/>